

小松じんぶん通信

第6号 令和7年1月 発行
石川県立小松高等学校 NSH担当

台湾交流研修に行ってきました！

12月10日(火)～13日(金)、人文科学コース2年生は「台湾交流研修」に行きました。この研修は国際性・英語での表現力を身につけることをねらいとしています。また、交流を通して、コミュニケーション能力や人間力の向上も目的としています。この4日間、生徒たちは様々なことを体験し、学び、そして、考える機会になりました。

○12月10日(火)台湾1日目

1日目は移動日です。9時15分に小松空港に集合し、台湾へと出発しました。お昼過ぎに桃園国際空港に到着し、バスと新幹線を乗り継いで嘉義に向かいました。

○12月11日(水)台湾2日目

2日目午前は、この研修のメインである現地の國立新營高級中學(高等学校)生徒との交流会です。新營高級中學の生徒たちは、ペアとなる本校生徒の名前が書かれたプラカードを持ち、笑顔で迎え入れてくれました。本校生徒が英語で課題研究の発表や日本と小松の紹介し、新營高級中學の生徒たちはダンスや歌などのパフォーマンスを披露してくれました。



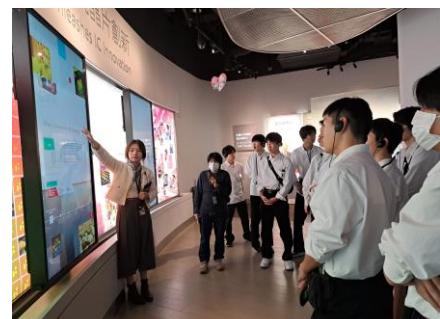
(生徒の感想)

もっといっぱい色々な話をしたいと思った時に英語より話せないといけないので新しい出会いを掴むために英語を勉強しようと思うようになった

世界の高校生も頑張っているのだから頑張らなければと思うようになった

初めは緊張した面持ちを見せていましたが、終わりには別れを惜しむ一幕も見られました。

午後は新幹線で新竹まで北上し、世界でも有数のシェアを誇る台湾の半導体メーカーであるTSMC台積創新館を見学しました。身のまわりの生活を支える半導体の重要性や使用者の要望に合わせて製品を作る企業の理念などを真剣な様子で聞いていました。



○12月12日(木)台湾3日目

午前は、故宮博物院と中正紀念堂の見学を行いました。故宮博物院では、メモを取りながら見学をする生徒たちの様子が見られました。多様な過去や背景を持ちながら博物館に集まつた展示物を見て、改めて台湾という国、台湾交流研修の日々に思いを馳せる生徒たちでした。



午後はB & Sプログラムで、現地大学生に案内してもらいながらグループごとに永康街や台北101などを回りました。小籠包やマンゴーかき氷など、事前に調べた台湾グルメを楽しんだり、大学生に台湾について教えてもらったりと、台湾の文化を肌で感じた3日目となりました。



(生徒の感想)

現地の大学生とうまく英語でコミュニケーションをとり、台北の地を楽しむことができた。

ガイドブックより、実際は見る情報の方が大切だと感じた。
これからは知るだけでなく、実際の体験、経験を増やしていく
きたいと思った。



○12月13日(金)

早朝にホテルを出発し、全員元気に小松空港へ帰ってきました。

生徒たちは台湾交流研修で得た様々な経験を糧に、今後の生活をより豊かなものにしていきます。

全体を通して(生徒の感想)

- ・海外と日本の風土の違いを体験できて面白かった。
- ・英語でコミュニケーションをとれたら自分の考えの幅が広がりそうという学習意欲の下で英語を学習できるようになった。
- ・台湾の人との交流を通じて、海外に行くことに興味を持ち、そのためにももっと英語力を身につけたいと思うようになった。
- ・色々なことに挑戦して自分についてもっと紹介できるようにしたい

今後の予定

1月17日 Jゼミ最終発表会

1月22日 令和6年度石川県SSH・NSH合同生徒課題研究発表会